

平成28年度 施策評価表

作成年月日：平成29年10月12日

課・グループ名

住民課環境交通グループ

施策名	①交通安全対策の推進 5-4-①		
1. 施策の現状分析及び展開方向			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	5. 安心して楽しく暮らせる快適な生活環境のまちづくり	(4) 安全、安心、便利な交通対策の推進	①交通安全対策の推進
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> ●家庭、職場また地域が一体となった交通安全運動の活動展開を図ります。 ●幼児、小中学生及び高齢者の交通安全教育を推進します。 ●交通安全施設整備の要望を関係機関に引き続き行います。 		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> ●南幌町交通安全条例に基づいて設置している南幌町交通安全運動推進協議会と栗山警察署、関係団体と連携を図り、交通道德の高揚と交通事故防止運動の推進を図っています。 ●交通安全推進員、交通安全指導員、女性指導員を委嘱し、町民の交通安全確保と交通安全に関する知識の普及を図っています。 ●道路危険箇所点検を行い信号機や標識等の交通安全施設整備の要望を関係機関へ行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町民の交通安全意識の高揚をより一層図ることが必要です。 ●信号機や標識等の交通安全施設整備の適正配置が求められています。 	

2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況

① 成果指標	設定の意図	まちづくりの成果指標名	数値化	
	町民の交通安全意識の高揚、啓発や交通安全教育を推進し、交通事故発生の抑止効果が生まれ、死亡交通事故ゼロ、交通事故発生件数が減少される安心・安全なまちづくりを目指しているため成果指標として設定している。	成果指標 (総合計画・施策評価)	○	可能
		A 死亡交通事故ゼロ継続日数		不可能
		B 交通事故発生件数(人身)		未計測
		代替指標 ※成果指標がない場合		指標の設定
		○	可能	
			不可能	

※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。

②指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由
		H25	H26	H27	H28	H28	
A目標	日	平成26年度より 変更	945	365	継続	継続	死亡交通事故がなかった
A実績	日		90	27	393	393	
A達成率	%						
B目標	件	0	0	0(抑止)	抑止	抑止	18件の人身事故の内、出会い頭事故が11件と最も多かった。
B実績	件	12	15	14	18	18	
B達成率	%						

評価視点	評価結果		理由、課題・問題点
③施策の達成状況	A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)	施策の達成度	目標達成のため、各期の交通安全運動、特別運動を継続して実施する。
	B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)		
	C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	B	
	D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)		

3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類

【必要性】事務事業の必要性

【妥当性】町の関与の妥当性

(1) 自主事業(自主)

(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの

(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業

(2) 施設管理事業(施管)

(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの

(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業

(3) 経常的事務(経常)

(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの

(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業

(4) ハード事業(ハード)

①事務事業評価結果

事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H28)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業評価結果(方向性)	事業費(千円)		施策への貢献度 <高い> <普通> <低い>
					目標	実績					H28実績	H29予算	
1	交通安全推進員・指導員設置事業	(1)	住民課	①死亡交通事故継続日数 ②交通事故発生件数(人身)	①継続	①日 ②件	南幌町交通安全指導員会を設置し、推進員・指導員による街頭指導、啓発等の交通安全活動を行い地域住民へ交通安全に対する意識向上に取り組んでいる。	II	I	1 現状のまま継続	4,138	高い	
					①393 ②18						4,394		
2	交通安全対策推進事業	(1)	住民課	①死亡交通事故件数 ②交通事故発生件数(人身)	①0 ②抑止	件	・行政区、町内会、学校等へ交通安全旗の掲揚、期別交通安全運動の参加協力を依頼し、家庭、職場また地域が一体となった交通安全運動の活動展開を図っている。 ・信号機や標識等の交通安全施設整備の要望を関係機関に行っている。 ・幼児、児童生徒及び高齢者の交通安全教育を推進。	I	I	1 現状のまま継続	823	高い	
					①0 ②18						937		
3	交通安全運動推進協議会助成事業	(1)	住民課	①死亡交通事故継続日数 ②交通事故発生件数(人身)	①継続	①日 ②件	交通安全事業活動費の助成	II	II	1 現状のまま継続	280	普通	
					①393 ②18						280		

年度別施策全体の事業費合計(千円)

H28事業費 5,241

H29予算 5,611

②H29に実施した新規事務事業

	実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H29予算(千円)
1					

評価視点	評価結果		理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	事業構成の妥当性	地域や関係団体、警察署との連携による各種交通安全運動の更なる活動により交通安全に対する町民の意識の高揚を図り、交通事故の減少につなげていく。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)		
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	A	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)		

4. 今後の方向性 ※外部評価(行政評価委員会)

①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。		事業の方向性 優先度 A~D (ランク)	事業番号					平成29年度以降の予算の方向性	
	A									
	B	1		2	3				拡大	
	C								〇 維持	
	D								縮小	